

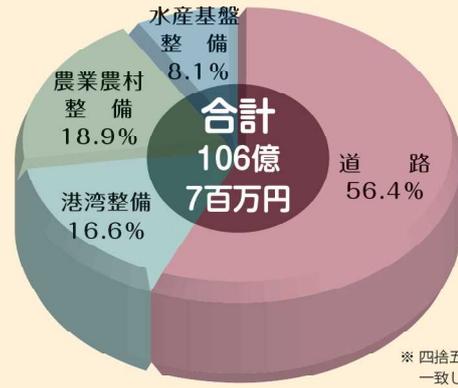
# 令和7年度北海道開発事業費(稚内開発建設部実施分)

## 事業費総括表

事項	予算額	比率
道路	59億8千3百万円	56.4%
港湾整備	17億5千7百万円	16.6%
農業農村整備	20億2百万円	18.9%
水産基盤整備	8億6千5百万円	8.1%
合計	106億7百万円	

注) 1. 農業農村整備及び水産基盤整備を除き、工事諸費は含まれていない。  
2. 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

## 事業別の構成



※ 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

## 道路事業

管内では、国道3路線、実延長284km(令和7年4月現在)の維持管理を行うほか、安全で信頼性の高い道路交通を確保し、管内の基幹産業である酪農業・水産業の移出ルート of 安定を図るとともに、激甚化・頻発化する災害を踏まえた道路の防災・減災に向けた対策を推進します。加えて、橋梁・トンネル等の道路施設について、点検・診断・措置等及び計画的な老朽化対策を進め、事故ゼロプラン及び通学路合同点検の結果に基づいた交通安全対策、道路の防災性の向上、安全で快適な歩行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から無電柱化を推進します。



【一般国道238号 幌別橋架替】

橋梁上部工の損傷や橋梁下部工の変状、耐震性の不足等を解消し、緊急輸送道路としての安全性・信頼性確保を目的とした橋梁架替事業。令和7年度は、橋梁下部工事を推進。



【一般国道238号 浜猿防災】

海岸浸食を要因とした道路損壊及び危険箇所の解消、地吹雪による視程障害の低減を目的とした延長9.7kmの防災対策事業。令和7年度は宗谷郡猿払村知来別～稚内市字東浦区間の改良工事を推進。

また、道の駅においては、観光の拠点化、防災拠点の強化、子育て応援など、更なる地方創生に向けた取組を官民の力を合わせて推進するほか、ゼロカーボン北海道の実現に向けEV充電施設の促進に取り組みます。

さらに、観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくりに取り組み、「宗谷シーニックバイウェイ」においては「宗谷ヒストリーロード」、「宗谷氷河ロード」の2つの区間を「秀逸な道」と定め景観の維持・形成により観光資源を磨き上げます。併せて、世界水準のサイクルツーリズム環境の実現に向けた「北海道のサイクルツーリズム推進方針」を踏まえ、「きた北海道ルート」においては地域や道路管理者等が連携し、安全で快適な自転車走行環境の創出、サイクリストの受入環境の充実及び情報発信等の本格的な取組を推進します。

これらの施策の推進等を通じて、北海道の資源・特性を活かして食・観光などの「強み」を提供する生産空間・基礎圏域の保持・形成や、安全安心に暮らせる社会基盤の確立を目指します。

## 令和7年度 道路事業の概要

路線・地区名	主要事業
238号	【浜猿防災】(海岸浸食を要因とした道路損壊及び危険箇所の解消)
238号	【幌別橋架替】
238号	防雪対策2か所
238号	【浜頓別大通交差点改良】、【浜鬼志別交差点改良】、【声問自転車通行帯整備】、【枝幸交差点改良(令和7年度新規事業化)】
275号	【浜頓別大通交差点改良(再掲)】、【敏音知視距改良(令和7年度新規事業化)】、【中頓別市街交差点改良(令和7年度新規事業化)】
40号	【稚内港電線共同溝】、【港交差点改良】